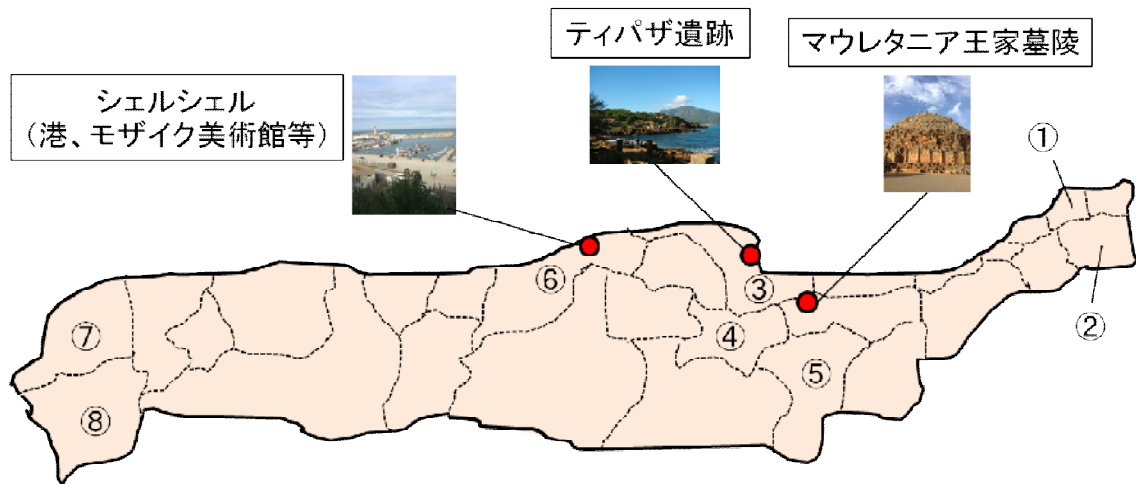


## ティパザ県の治安情勢（2013年1月～12月）

ティパザ県にはアルジェリアの世界遺産の1つが所在し、同所は邦人観光客が訪れる主要な観光地ですが、最近、以下の通り治安上の事件が数件発生していますので、来訪される場合は、単独行動をしない、夜間に外出しない、地元の案内人なしに行動しない、人気のないところに行かない等、十分に御注意頂く必要があります。



### ① フーカ地区

5月12日、同地区中心部の商業区域において、警察は、不審物件の設置に関する住民通報を受けて出動、現場付近の検索を行った結果、手製爆弾2個を発見、同地区内で解体した。【テロ】

### ② コレア地区

(1) 9月4日、憲兵隊はアルジェ県に向けて移動していたテロリスト1人を逮捕した。【テロ】

(2) 11月28日、同地区バス停留所でアルジェ行きバスを待っていた女性が誘拐され、2週間に及ぶ監禁、暴行を受けた後、メデア県に置き去りにされた。治安当局は犯行グループを全員逮捕した。【一般犯罪】

### ③ ティパザ地区

1月7日夜間、保養観光施設付近の道路で、頭蓋骨骨折の死体が発見された。死体の損傷状況から、自動車による死亡ひき逃げ事件の様様。【一般犯罪】

④ ハジュート地区

12月3日、憲兵隊は、5人組の紙幣偽造グループを逮捕した。主犯は大学生で、麻薬購入の為に偽造を行っていた。【一般犯罪】

⑤ ブルキカ地区

4月28日午後、帰宅途中の警護隊員3名がテロリストの襲撃を受け死亡した。犯行の詳細は不明であるが、テロ・グループは、警護隊員の殺害後、武器を奪って山岳地帯に逃亡した模様。周辺では、軍によるテロリストの掃討作戦が展開された。【テロ】

⑥ シェルシェル地区

(1) 3月12日、国道11号線において道路封鎖。同月8日、速度超過、車線逆走運転を原因とする交通死亡事故が発生し、住民・遺族関係者等が憤慨、12日の被害者葬儀終了後、道路整備等を求め、国道上下線を約2時間にわたり封鎖した。【抗議活動】

(2) 3月16日、庶民区画の整理に立ち会ったシェルシェル区長が、暴漢に襲われ重体となった。区画整理で一部の住民の反感を買った模様。【一般犯罪】

⑦ ダムース地区

(1) 3月28日、軍は、事前情報に基づきテロリスト1人を殺害し、カラシニコフ銃1丁を押収した。【掃討作戦】

(2) 7月16日午後1時頃、同地区森林地帯のダム付近で、軍の車列通過の際に複数の爆弾が爆発し、軍人4名が死亡し、複数名が負傷した。【テロ】

(3) 8月14日午前2時頃、シュレフ県との県境付近で、掃討作戦中の軍車列に対し、テロリストが待ち伏せ攻撃を仕掛け、軍人4名が重傷を負った。【テロ】

⑧ ベニ・メルーク地区

10月11日夜間、同地区山岳地帯において、パトロール中の軍が路肩に仕掛けられていた爆弾を発見し、解体した。【テロ】